

助成金等公募情報

平成29年度やまなし産業大賞募集

山梨県では、どこにもマネのできない優れた技術やホットな製品をもっている企業、顧客へ新しい価値や生活を創造・提案し続ける経営を行う企業などを募集しています。他の企業の目標となっただき、県内産業が元気になることを目指しています。自薦・他薦は問いません。ふるってご応募ください。

■募集期間

平成29年6月1日(木)～平成29年7月18日(火)

■募集対象

「ものづくり大賞部門」、「経営品質大賞部門」

■募集方法

「平成29年度やまなし産業大賞応募申込書」の「ものづくり大賞部門用」又は「経営品質大賞部門用」に必要事項を記入の上、平成29年7月18日(火)までに必着するよう山梨県産業労働部新事業・経営革新支援課まで送付するか、ご持参ください。

■問合せ先：山梨県産業労働部新事業・経営革新支援課 TEL:055-223-1544

ものづくり人材育成支援助成金

山梨県内の中小企業の皆様が、戦略産業分野(医療機器関連産業、燃料電池関連産業、スマートデバイス関連産業、生産機器・業務機器システム関連産業の4分野)への参入や技術力の強化のため、雇用する技術者・技能者に、社内又は社外において先端技術等の修得のための研修を受講させる場合に、研修費用の一部を助成します。

■助成の対象となる事業主

生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、プラスチック製品製造業、金属製品製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、情報サービス業

■助成の対象となる研修

社内研修・・・自社に外部講師等を招聘して行う研修

社外研修・・・IoTなど戦略産業分野に関する専門的な研修が実施可能な民間企業、公共職業能力開発施設、学校教育法の教育機関、公私立の試験研究機関、中小企業大学校及びこれに準じる機関等に技術者、技能者を派遣して行う研修

■助成の対象となる経費等

社内研修・・・講師等謝金、講師等旅費、テキスト、教材費等

社外研修・・・参加者旅費、研修等参加費、テキスト、教材費等

助成額・・・実費の1/2以内(受講者1人当たり5万円を上限)

■問合せ先：山梨県産業労働部産業人材育成課 TEL:055-223-1566 FAX:055-223-1560

今後のイベント情報

イノベーション・ジャパン2017

-大学見本市-

会 期：2017年8月31日(木)～9月1日(金)

開催時間：8/31(木) 9:30～17:30

9/1(金) 10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)東展示棟

主 催：国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

概 要：国内最大規模の産学マッチングイベントであり、JSTがえりすぐった大学等の研究成果の展示に加え、大学見本市出展者が技術内容を紹介する「JSTショートプレゼン」を分野別に実施します。



山梨県！食の展示・商談会
やまなし食のマッチングフェア
2017 in TOKYO

日 時：2017年7月28日(金) 10:00～17:00
会 場：京王プラザホテル(新宿)東京都新宿区西新宿2-2-1

日 時：2017年7月28日(金) 10:00～17:00

場 所：京王プラザホテル(新宿)本館4階「花」

主 催：株式会社山梨中央銀行

【発行】2017年7月5日



国立大学法人 山梨大学
研究推進・社会連携機構
新技術情報クラブ事務局
〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
TEL:055-220-8754 FAX:055-220-8757
E-mail: renkei-as@yamanashi.ac.jp
URL: http://www.scrcs.yamanashi.ac.jp/

NO. 1

July
2017

新技術情報クラブ CLUB NEWS

国立大学法人 山梨大学

大学TOPICS

若山清香特任助教、若山照彦教授らが、国際宇宙ステーションの保管精子でマウスの繁殖に成功！

平成29年5月18日(木)、本学大学院総合研究部発生工学研究センターの若山清香特任助教、若山照彦教授、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の矢野幸子主任研究開発員らの研究グループは、国際宇宙ステーションにある日本実験棟「きぼう」で長期保存したマウスのフリーズドライ精子のDNA損傷度を明らかにし、健康な産仔を作出することに初めて成功しました。国際宇宙ステーションでは、太陽活動や船内の遮蔽環境により、地上の数百倍程度にも達する宇宙放射線の被ばく量が計測されます。この環境下で約9ヵ月保存されたフリーズドライ精子のDNA損傷度を調べたところ、DNA損傷度の割合が地上保存に比べ高くなっていました。しかし顕微授精を行うと宇宙保存精子の大部分は卵子と受精し、正常な胚盤胞へ発生しました。さらに、宇宙保存精子由来の受精卵を偽妊娠メスに移植したところ合計73匹の宇宙精子由来のマウスを得ることに成功し、地上保存マウスとほぼ同じ出産率で、宇宙保存による出産率への影響は見られませんでした。この実験から、宇宙放射線環境下では、精子由来の核DNAに損傷を生じますが、それらの損傷は授精や出産に影響のない範囲であり、生まれた産仔はほぼ正常であることが判明しました。今後は、より長期間宇宙で保存したフリーズドライ精子の実験を行うことにより、宇宙放射線が生殖細胞等に対してどのように影響を与えるか明らかにする予定です。

平成29年度山梨大学大村智記念基金奨学金授与式を挙行政！

平成29年5月17日(水)、甲府キャンパスにおいて、平成29年度山梨大学大村智記念基金奨学金授与式を挙行政しました。この奨学金は、ノーベル医学・生理学賞を受賞された本学卒業生・大村智特別栄誉博士の「若者の学業を奨励したい」との強いご意向を踏まえ、「山梨大学大村智記念基金」を活用し、昨年度から大学独自で学部学生に対し、返還不要の奨学金を給付しています。授与式では、今年度給付する医学部医学科5年生3名と他学部・学科1年生15名の計18名に対し、島田眞路学長が目録と大村博士記念色紙を手渡し、「次の大村先生を目指して頑張ってください」と激励しました。また、来賓代表として天野一全学同窓会長から「大村先生のご厚意を受け止め、奨学金を大切にしてください」とお祝いの挨拶を頂き、奨学生は謝辞と将来の夢などを述べました。その後、昨年度の奨学生を交えた交流会を開催し、この1年間の心境の変化や学生生活、今後の目標等を語り合うなど、大変有意義な会となりました。



激励の言葉を述べる島田学長

後藤齋山梨県知事と島田学長が会談！

平成29年4月24日(月)、山梨県庁にて、後藤齋山梨県知事と島田眞路学長が会談し、地方大学の振興等について、更なる連携・協力の依頼を行いました。4月18日(火)に開催された内閣府「まち・ひと・しごと創生本部」の第5回「地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議」において、検討の方向(案)に「国公私の設置者を超えた機能分担や隣接県の国立大学間の連携・協力による学部・学科の再編・統合を進める」、「国立大学は法人化されたとはいえ、国策としての大学であることを再認識し、統廃合についても先行して検討を進めていくべき」との記述が盛り込まれました。今回の知事との会談は、単純に国立大学の再編統合という報告が打ち出されれば、山梨大学はもちろん山梨県に与える影響も少なくないこと、また、現時点の地方大学の単純な再編統合には問題があることを理解いただき、知事会等へ働きかけをお願いしたいことから、実現したものです。会談では、上述の有識者会議での議論に関する説明、並びに、改めて本学の地方創生に関する取り組みなどについて説明し、知事から見解を伺いました。



連携強化を約束する後藤知事と島田学長

山梨大学特許最新情報

山梨大学が出願した最新特許情報につきましては、非公開の情報も含まれますので
会員 以外には公開しておりません。

産学官連携TOPICS

平成28年度COC地域課題解決科目学生発表会を開催！

平成29年4月5日(水)、甲府キャンパスにおいて、平成28年度COC地域課題解決科目学生発表会を開催しました。平成26年度に文部科学省に採択されたCOC事業「山梨ブランドの食と美しい里づくりに向けた実践的人材の育成」を推進してきた本学では、全学的な地域志向型の教育カリキュラムとして、地域課題解決人材育成プログラムを実施しています。同プログラムのひとつである「地域課題解決科目」は、フィールドワーク実習を中心に、地域の課題を解決する能力を身に付ける、アクティブラーニングの手法を取り入れた科目です。発表会では早川正幸理事・副学長による開会挨拶の後、郷健太郎地域未来創造センターCOC部門長が同プログラムの概要説明を行いました。続いて、地域課題解決科目9科目、12グループがポスター発表を行い、学生たちは1年間で学んだ様々な成果を参加者に熱く語っていました。



各ポスター前で学生が発表

平成29年度「燃料電池関連製品開発」及び「医療機器設計開発」人材養成講座の合同開講式を開催！

平成29年4月15日(土)、甲府キャンパスにおいて、平成29年度「燃料電池関連製品開発」及び「医療機器設計開発」人材養成講座の合同開講式を開催しました。本学と山梨県は、両分野における県内企業の参入を促進するため、本学が持つノウハウを活用して設計開発技術者を養成する講座を開講しており(燃料電池分野は平成28年度、医療機器分野は平成27年度から開講)、今回初めて両分野合同で開講式を開催しました。島田眞路学長による開会挨拶の後、佐野宏県産業労働部長より「本講座が県内のものづくり産業の牽引となるよう期待する」とご挨拶をいただきました。また記念講演として、厚生労働省の磯部総一郎医薬・生活衛生局医療機器審査管理課長より「医療機器承認審査の今後の方向性～医療機器のより迅速な実用化に向けて～」と題したご講演をいただき、各国の承認制度の比較や開発の実例、政府の政策や今後の展望などを分かりやすくお話いただきました。



講演する磯部課長

コーディネータによる【研究者紹介】

水素・燃料電池技術支援室 シニアアドバイザー、燃料電池ナノ材料研究センター顧問 特命教授・名誉教授 渡辺政廣(わたなべ まさひろ)先生

今回は、水素・燃料電池技術支援室 シニアアドバイザー、燃料電池ナノ材料研究センター顧問、特命教授・名誉教授の渡辺政廣先生をご紹介します。

燃料電池システムは多くの要素部品・技術から構成されておりますが、先生はこの中でも特に触媒関連に多くの業績を残されておられます。

1968年の本学着任当初から燃料電池関連の触媒を中心とした研究を行ってきておりまして、山梨大学の燃料電池関連研究を牽引され、2001年4月から山梨大学クリーンエネルギー研究センター長、2008年4月から2015年3月まで燃料電池ナノ材料研究センター長に就任されておりました。

これらのご尽力や研究実績などから、多くの表彰等受賞されてきておりますが、最近では2013年に国際電気化学会よりGold Medalを受賞され、さらに2016年に燃料電池分野の発展に大きく貢献したことが認められ、米国電気化学会からフェローの称号を授与されました。

現在では、継続して研究者などのご指導をされているとともに、地域産業への貢献として全国の燃料電池関連研究者・技術者と共に先端技術の実用化のリーダーとしてご活躍されておられます。

(記: 還田統括コーディネータ)



渡辺政廣 先生

大学TOPICS、新技術情報クラブ報告

アカデミックサロン(第16回)を開催しました！

第16回アカデミックサロンを平成29年5月19日(金)午後4時から甲府駅北口(山の手通り)「アジュール」にて開催しました。生命環境学部(環境科学科)の片岡良太(かたおかりょうた)助教から「農耕地の土壌環境改善に微生物を巧みにもちいる」のテーマで、塩類集積土壌の植物による修復、緑肥を用いた有機農業と土壌微生物、微生物を利用したバイオセンサーについて講演をして戴きました。灌漑の導入や、化学肥料の多投は収穫量の増大に貢献した一方で、過剰灌漑などによる塩類集積を引き起こし、土壌環境の劣化の問題を引き起こしているそうです。土壌環境の劣化は、農作物生産の減少となり、飢餓や貧困など社会的問題に繋がります。先生は微生物の力を用いて、土壌を修復する技術を研究されているとのことでした。食生活には不可欠な農業や土壌に関する講演のため、出席者からさまざまな質問がされ、関心度の高いテーマだと認識いたしました。



第16回アカデミックサロン風景

平成29年度客員教授称号授与式を挙行政！

平成29年6月6日(火)、甲府キャンパスにて平成29年度客員教授称号授与式を挙行政しました。客員教授称号は、本学の教育研究の発展に寄与することを目的に、各分野で活躍されている学識経験者の方に授与するもので、今年度は27名に授与されました。新技術情報クラブをお手伝いいただいている 内藤地域連携コーディネータも昨年度に引き続き客員教授に任命されました。式では、島田眞路学長が「本学の発展のため、ぜひ皆様のお知恵をお借りしたい」と期待の言葉を述べました。

山梨中央銀行との「連携推進協議会」が発足！

平成29年6月6日(火)、甲府キャンパスにおいて、「第1回山梨大学・山梨中央銀行連携推進協議会」を開催しました。山梨中央銀行と本学は、平成17年7月に「包括的業務連携に関する協定書」を締結以降、現場レベルでの様々な取組を通じて相互の連携を深め、密接な協力関係を築いてきました。今回、双方の協議の場として「連携推進協議会」の下に「専門委員会」を設け、共同研究等による地場産業の育成強化やベンチャー企業の育成など、案件毎にワーキンググループで具体的内容を検討していくことなどの協議を行い、新たに「IT関連技術分野連携推進専門委員会」が設置されました。また、同行から派遣された内藤地域連携コーディネータが、本学に常駐しながら研究者の情報をくまなく収集・把握し、大学の研究成果(シーズ)と産業界のニーズをマッチングさせ、地場産業の強化や新ビジネスの創出につなげてきた成果等を発表しました。

報告する内藤地域連携
コーディネータ